

科目名称	精神看護学実習	学年学期	単位数	時間数
		第3学年 全期	2	90
担当教員	村上 裕紀	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

精神疾患・精神症状をもつ全てのライフステージにある患者とその家族を理解し、健康上の課題に対応するための看護実践ができる能力を養う。また、対象との関わりの中から自己の振り返りを行い、自己洞察を深め、治療的関わりについて学ぶ。

【2】学習目標

1. 精神に障害をもつ患者の心と行動を身体的・心理的・社会的側面から理解できる。
2. 患者に出現している症状と疾患との関連性を考慮し、患者の生活に及ぼしている影響を理解し、看護に反映できる。
3. 対象理解を深め、対象に応じた援助計画を立案し実践できる。
4. 患者－看護師（学生）関係の成立と発展の過程について振り返り、治療的関わりについて学習できる。
5. 精神保健・医療・福祉における専門職種間との連携・協働の必要性および看護の役割が説明できる。
6. 患者の援助及び関わりの過程を通して自己を振り返り、自己洞察できる。
7. 看護者の倫理綱領および本校の倫理綱領に基づいた行動ができる。

【3】第2看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
実習前	・実習直前にオリエンテーションを受け、実習目的・目標を確認し、自己の目標・課題を明確にする。 ・病院で現地オリエンテーションを受け、各病棟を見学し概要を把握する。	オリエンテーション
1週目	・初日に病棟オリエンテーションを受ける。 ・担当患者の発病までの経過、生育歴や家族背景、精神症状(MSE)、治療の概要、セルフケアレベル、疾患や入院に対する患者の思い等を情報収集する。 ・情報を整理し、アセスメントを行い、対象者を病像・人間像・生活像を統合して捉える。	臨地実習
2週目	・自己洞察を行いながら、対象との治療的関係を築く。 ・オレム-アンダーウッズの理論を用いて看護計画を立案し、看護過程を展開する。 ・精神に障害をもつ対象のセルフケアレベルに応じた日常生活の援助方法を学ぶ。 ・精神医療における治療環境と権利擁護の特徴について学ぶ。 ・作業療法、認知行動療法、社会生活技能訓練(SST)に患者とともに参加し、患者の健康な部分やストレングスを見出して看護に反映する。	
3週目	・対象と治療的関係を終結することができる。 ・精神障害者を取り巻く社会資源と支援者の関係の実際を知り、地域連携の方法について学ぶ。 ・多職種との協働における看護師の役割の実際を知る。 ・実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。	

【5】評価方法

精神看護学実習の到達度基準に従い、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後までの学習状況から、学生・教員（臨地実習指導者所見含む）で評価を行い、60点以上を合格とする。

【6】教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学(1) 医学書院
 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学(2) 医学書院

【7】 参考書

遠藤叔美:統合失調症の看護ケア, 中央法規

高橋良斉:うつ病・双極性障害の看護ケア, 中央法規

武藤教志:メンタル ステータス イグザミネーション, 精神看護出版

山本勝則:精神看護技術, メヂカルフレンド社

【8】 受講生へのメッセージ